

115℃ 高圧蒸気滅菌用バイオロジカルインジケータ

使用前のご注意

- ・有効期限をご確認ください。
- ・アンプルが無傷・青緑色であること、ラベルのケミカルインジケータが青色であることをご確認ください。
- ・キャップの窓にテープやラベルを貼らないでください。
- ・滅菌前にキャップを押し込まないでください。
- ・冷蔵保存の場合、室温にしてからご使用ください。

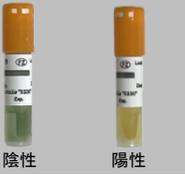
保管上のご注意

- ・2~25℃、RH 20%~80%で遮光保管してください。
- ・滅菌器や殺菌消毒剤から離れた場所に保管してください。

廃棄の際のご注意

- ・滅菌不十分と判定された使用済み及び期限切れの本品は、必ず滅菌処理(121℃、30分)を行った後廃棄してください。

操作手順

1 滅菌前	BIのラベルの空白箇所に滅菌管理上の必要事項(例:実施日時・箇所など)を油性ペンで記入し、BIを適切な滅菌袋などに入れ、滅菌器の中で最も蒸気が達しにくい箇所に置き、滅菌をかけてください。
2 滅菌後	放熱後、ラベルのケミカルインジケータが 青色 から 黒色 に変色していることを確認し、滅菌袋を開けずにキャップをきちんと押し込んで閉めてください。 
3 クラッシュ	十分放熱させたBIを滅菌袋から取り出し、写真のようにクラッシャーを使ってアンプルを割ってください。 ⚠️ 注意: 絶対にアンプルを手で直接割らないでください。作業時は怪我をしないように必ず保護メガネ・マスク・手袋を着用してください。 
4 染み込ませる	キャップを持ち、何回か軽く叩きつけて培養液を芽胞紙片に染み込ませてください。目視で染み込んでいることを確認してください。 ⚠️ 注意: 必ずキャップを持って作業してください。怪我する恐れがありますので、ボディ部分を持って作業しないでください。 
5 培養開始	BIを垂直に保ったままインキュベーターに入れ、培養を開始してください。 培養温度: 35~39℃ 陽性コントロール: 滅菌処理をしていないBIのキャップを閉め、同様にインキュベーターにて培養します。 陽性コントロールは、使用毎に行ってください。 ※48時間以上の培養を行う場合、培地の蒸散を防ぐためにパラフィルムなどを使い、キャップ全体を密封してください。 
6 判定	陰性 培養液の色は青緑色のまま変化なし⇒滅菌完全 陽性 培養液の色は変化あり(青緑色から黄色)⇒滅菌不完全 陽性になる原因として次の3つが考えられます。 ①被滅菌物による影響 ②BIの培養手技の問題 ③滅菌器本体の問題 
7 記録	培養液の色を観察し、48時間もしくは7日後の結果を記録してください。